

認知症は誰にでも起こり得る脳の病気

八戸市の認知症高齢者は、令和7年3月末現在で約9,000人と推測され、今後も高齢化の進展に伴い、増えていくことが予測されます。

八戸市認知症ケアパス 「認知症たすけるすけ」

認知症に関するさまざまな不安が解消されるよう、状態に応じてどのような医療・サービスが受けられるのかをまとめた冊子です。

市ホームページに掲載しているほか、高齢福祉課窓口等で配付しています。



認知症初期集中支援チーム

認知症の早期相談・早期治療を目的に、認知症専門医と保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員などの専門職がご家庭を訪問し、ご本人やご家族の支援を行います。生活上でどのように困っているかなどを一緒に確認し、おおむね6か月を目安に医療や介護サービスなどにつなぐための集中的な支援を行います。

高齢者の相談窓口 高齢者支援センター

高齢者が住み慣れた地域で安心した生活を続けられるよう、さまざまな支援先につなぐ相談窓口です。お住まいの地区を担当する高齢者支援センターでご相談できます。

お住まいの地域の担当センターが分からない場合は、高齢福祉課 地域包括支援センター (TEL 43-9189) へお問合せください。



認知症の早期発見の目安

日常の暮らしの中で、認知症の始まりではないかと思われる言動を、「公益社団法人 認知症の人と家族の会」の会員の経験からまとめました。医学的な診断基準ではありませんが、ご本人またはご家族がチェックをして、いくつか思い当たることがあれば相談しましょう。

●物の忘れについて

- 今切ったばかりなのに、電話の相手の名前を忘れる
- 同じことを何度も、言う・聞く・する
- しまい忘れ・置き忘れが増え、いつも探し物をしている
- 財布・通帳・衣類などを盗まれたと人を疑う

●人柄について

- 些細なことで怒りっぽくなった
- 周囲への気遣いがなくなり、頑固になった
- 自分の失敗を人のせいにする
- 「このごろ様子がおかしい」と周囲から言われた

●判断・理解力について

- 料理・片付け・計算・運転などのミスが多くなった
- 新しいことが覚えられない
- 話のつじつまが合わない
- テレビ番組の内容が理解できなくなった

●不安感について

- 1人になると、怖がったり寂しがったりする
- 外出するときに、持ち物を何度も確かめる
- 「頭が変になった」と本人が訴える

●時間や場所の認識について

- 約束の日時や場所を間違えるようになった
- 慣れた道でも迷うことがある

●意欲について

- 下着を替えず、身だしなみを構わなくなった
- 趣味や好きなテレビ番組に興味を示さなくなった
- ふさぎ込んでしまい、何をすることも億劫になり嫌がる

参考：公益社団法人 認知症の人と家族の会『家族がつくった「認知症」早期発見のめやす』

【お問合せ先】 八戸市 高齢福祉課 地域包括支援センター TEL 43-9189

元気なうちから介護予防を！

介護予防センターでは、介護予防に関する事業を行っています。気軽に参加して、一緒に介護予防に取り組んでみませんか。開催日時や詳細については、市ホームページをご覧ください。



【お問合せ先】 八戸市 高齢福祉課 介護予防センター TEL 38-0726

(八戸市総合保健センター2階)